

横浜市令和2年度当初予算案説明会

2月19日（水）、横浜地域連合と連合神奈川は、横浜市庁舎会議室において「令和2年度横浜市予算案説明会」を開催し、横浜市から令和2年度予算案の説明を受け、意見交換を行いました。

予算案説明会冒頭、林横浜市長は「このたびの予算編成にあたっては、昨年9月にいただいた『政策・制度要求と提言』をしっかりと受け止めて、検討や調整を重ねてきた。皆様からのご提言のもと、市民生活の安心と安全を支える施策を、きめ細かく着実に進めていく。」と挨拶しました。



高橋議長からの挨拶では、「昨年12月23日に53項目の『政策・制度要求と提言』に対する回答をいただいた。新年度予算案では、横浜地域連合として提言を行った『教育・保育施策の充実』『中小企業への総合的な支援』『循環型社会の実現に向けた課題への対応』に予算措置を講じていただいた。誠意をもって対応いただいたことに対し、改めて感謝申し上げます。横浜の375万市民の皆さんが「横浜に住んで良かった」と思えるように、また、誰もが希望をもって生活できるように、引き続き市政に邁進していただくことを願います。」と述べました。

引き続き行われた意見交換では、横浜地域連合・秋山議長代行より「循環型社会の実現に向けた喫緊の課題への対応」「関内・関外地区の活性化の推進」について質問を行い、それぞれについて回答を受けました。